

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.1 R 2, 5, 29

石山・雲梯・回旋塔 今まで長い間ありがとう！



4月28日撤去作業が行われました。いざ撤去が始まるとなるとたくさん子どもたちが遊んでいた様子が思い出され、寂しさがこみ上げてきました。



インパクトなどの工具を使って、屋台(遊具)作りに挑戦！職員が作りました。

私たちは、一級建築士・子ども環境アドバイザーの井上寿先生のアドバイスの下、『子どもが自ら育つ園庭』を目指して取り組んでいます。今回は職員みんなで、元緑バス運転手の浦さんに工具の使い方の指導を仰ぎ、いろいろな遊びに活用できる屋台を制作しました。



完成!!

新しい園庭に向かって、
次のようなことに
取り組んできました。

休園中のある日、園庭にジュンベリーの花が咲いていることに気が付きました。気付けばもう5月も終わりです。子どもたちの姿を待たずに春を跳び越え、夏を迎えました。

「園庭環境」についての研修を進めて4年目になります。私たちは、子どもたちが思いきり遊び込め、いろいろなことに気づき、たくさんの学びができる園庭を目指しています。これまでの話し合いにより、友だちへの憧れやできるようになった達成感がある反面、危険要素も多かった石山、雲梯、回旋塔を撤去し、その代わりに土を整備して緑を増やしたり、日陰を増やしたり、屋台(遊具)を作ったり…。新しくなった園庭で子どもたちはどんな楽しみを見つけるのでしょうか？どんな成長がみられるのでしょうか？今、私たちはワクワクしています。

幼稚園だからこそできるたくさんの遊び、こんな時代だからこそ経験させたい様々なことを、園庭で見られた子どもたちの姿を基にお伝えしていきます。このおたよりは不定期に発行されますので、お時間があるときにちょっと目を通してみてください。



子どもたちが自由に摘んで遊べる草花を移植。虫も呼べるといいな。



解体後に転がっている砂利や小石を拾い集めました。この場でどんな遊びが展開されるのだろうか…。



これから夏に向けて、水遊びを楽しめるよう遮光シートを張り、日陰を作りました。



子どもが積極的に遊び出し、進んで片付けができるよう、おもちゃの置き方も考えました。

園庭研修を行い、環境として一番大きな存在は私たち大人であることも感じました。もっと子どもを知ることを進め、一緒に遊んだり、時に見守ったりしながら、子どもが心を動かす瞬間を見つけていきたいと思えます。

新しい園庭で子どもたちが遊ぶ様子は次号でお伝えします。お楽しみに!!

